

令和元年度 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表集計 ぴっぴ名取

5名回答

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	スタッフより意見	今後の改善点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4	1	1	規定は満たしているが、十分な広さとは言えない為、配置等工夫している。	2階に学習室を設け、集中して取り組めるスペースを作ったが、送迎時等でスタッフが抜けると有効に活用できない為検討している。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	0	社員が増え人員配置は足りている。	安全な支援の為、更に人員を増やすよう求人を出している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	0	4	今後手すりなど必要な利用登録があった場合は検討していく。	管理会社と相談しながら必要に応じて対応していく。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	0	日々の打ち合わせで個々の支援目標を確認し、翌朝の打ち合わせまでには児童の様子を振り返っている。毎月の所内会議では、年度初めに設定した事業所目標に対する結果も職員全体で振り返っている。	日々の支援の打ち合わせと毎月の所内会議で共通意識を持てるよう、今後も確認していく。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用することによりアンケート調査票を実施して保護者などの意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5	1	0	アンケート調査票、年2回の面談におけるびっぴ名取への要望を事業所内で共有し業務改善につなげている。	実行に移せていないものもある為、今後も検討し続ける。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	事業所内の玄関に掲示し、保護者・職員がいつでも見られるようにしている。	引き続き玄関に掲示し、必要に応じてホームページやおたよりに掲載するなど、公開の方法を法人で検討していく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、結果評価を業務改善につなげているか	3	1	2	外部評価は行っていない。	法人として検討し、今後体制を整えていきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	法人内の研修の他、外部の研修にも参加している。	外部の研修に参加した場合は、今後も所内にて伝達研修を行いスタッフ全員の知識の向上に努める。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	日々の支援で個々の児童のニーズを省察し、送迎時の保護者との情報交換をこまめに行っている。	省察や情報交換、面談にてアセスメントを行い、分析した結果を個別支援計画に今後も反映させていく。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを活用しているか	4	2	0	事業所内ではSM検査を行っている。また手帳の更新などで個々に受けた発達検査などの結果をいただき支援計画に反映させている。	事業所内での発達検査他、外部で受けた発達検査結果をもとに、利用児の発達段階に沿った支援を行う。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	日々の打合せや毎月の会議において意見を出し合い活動プログラムを立てている。ケース会で必要な支援を話し合いそれに沿った活動を取り入れている。	スタッフそれぞれの強みを生かしたプログラムの立案を今後もしていく。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6	0	0	子ども達が楽しく事業所に通えるように新しい活動を取り入れている。	子ども達の支援目標に沿うように様々な活動を取り入れるよう、今後も工夫する。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	休日・長期休暇は、外出やクッキング等時間をかけて活動する体験機会を設けている。	平日は学校の活動を確認して子ども達の負担にならないように考慮していく。休日・長期休暇は体験活動を取り入れる。休日は、集団での体験を主としており、課題の細かな設定は不十分だった為、個々に応じた設定をする必要があるか検討していく。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	個別活動の日、集団で行うSSTの日など、利用児の発達段階や特性を踏まえている。	個々の目標達成を目指して集中して取り組めるよう、月に1度個別学習の週を設けている。その日の利用児に合わせたSSTを今後も検討しながら実施していく。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	支援前に打ち合わせを行っている。	今後も、支援前には支援内容・役割分担・利用児の目標について確認していく。
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	退勤時刻が異なったり、送迎等があったりする為、当日の打ち合わせは難しいが、翌朝には情報共有している。	個別記録に細かく記入していき、次の支援につながるようにしていく。伝達漏れがないようにスタッフ間の連絡ノートも活用していく。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取 ることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか	6	0	0	業務日報と利用児の個別記録を必ず つけている。体調や薬の服用など についての記載も忘れずに日々記録し ている。	個別記録は利用児個人の支援計画に沿っ て日々記録している。学校や保護者様と の情報交換の内容もその都度記録してい く。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後 等デイサービス計画の見直しの必要性 を判断しているか	5	1	0	定期的にモニタリングを行い、計画 に沿って支援が行われているか確認 をしている。	基本は半年ごとに計画を見直している が、途中の状況の変化や保護者・学校・ その他関係機関との支援統一事項や変更 等ある際はその都度計画の見直しの必要 性を検討している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数 組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	1	全ての基本活動を複数組み合わせ てはいない。	職員間で再度ガイドラインの総則の基本 活動を共有し、十分ではない活動に関し てどのように組み込むか検討していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議にその子どもの状況に精通した 最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	管理責任者及び児童発達支援管理責 任者が参加し、必要な情報を共有し ている。	管理責任者及び児童発達支援管理責任 者が参加している。今後人員がそらえば評 価担当者や児発管基礎研修修了者も同席 できるよう調整していきたい。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予 定等の交換・子どもの下校時間の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応・トラ ブル発生時の連絡）を適切に行ってい るか	5	1	0	保護者の了解を得た上で学校との連 携を図っている。利用時の状況に合 わせて1日を通して無理のないよう 調整するため、下校時にその日の授 業内容等教えてもらいびっぴでの活 動に反映させている。	基本は保護者とのやり取りであるが、保 護者の了解を得て、日々の連絡調整をし ている。学校・びっぴ名取での様子等も 共有している。今後も細かい情報共有を して連携していきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れ る場合は、子どもの主治医等の連携体 制を整えているか	2	1	3	医療的ケアが必要な児童の受け入れ は行っていない。	医療的ケアが必要な児童の受け入れは 行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚 園、認定こども園、児童発達支援事業 所等との間で情報共有と相互理解に努 めているか	5	1	0	保育所や療育施設へ向いて情報交 換をしている。また、保育所・幼稚 園や療育施設にて行っていた支援計 画やその結果評価を画面でいただき 、利用児が混乱しないよう支援内 容を引き継いでいる。	保護者の了解を得て、法人内の未就学児 通所施設との情報共有を行ったり、当事 業所利用前の見学と支援の引き継ぎをし ている。法人外の保育所利用児には同じ く保護者の同意を得た上で見学に行っ たり、保護者より支援結果の資料をいた だき引き継いでいる。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス 事業所から障害福祉サービス事業所等 への移行する場合、それまでの支援内 容等の情報を提供する等しているか	5	1	0	対象が小学生の為小中高生対象の放 課後等デイサービスへ引継ぎをして いる。	法人内の中高生対象施設に移行する場 合は、完全移行前に合同で活動したり、 一人体験をしたり、週の半分ずつ利用す るなど、本児の負担のないやり方で移行 していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支 援センターの専門機関と連携し、助言 や研修を受けているか	3	3	0	管理責任者及び児童発達支援管理責 任者が研修に参加し、交流の場を 持っている。	引き続き外部研修へ参加し、連携を図 ることで支援計画へ生かす。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流 や、障害のない子どもと活動する機会 があるか	4	2	0	近隣の保育園との交流を図ってい るが、回数は少ない。	親子行事では、ご兄弟との交流も促し た。今後は、その機会を増やしていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加しているか	6	0	0	管理者及び児童発達支援管理責任 者が協議会に参加している。	引き続き、参加する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っているか	6	0	0	日々の送迎時の申し送りや連絡ノ ート、電話での相談受付等で子ども の状況を共有している。	保護者の状況に応じて、電話・連絡ノ ート・携帯メール等にて連絡し合い、情 報交換しながら支援目標達成につなげ ている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点か ら、保護者に対してペアレント・ト レーニング等の支援を行っているか	3	2	1	法人としては行っていない。	行政からの案内があった場合には配布 している。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等 について丁寧に説明を行っているか	5	1	0	契約時、書面と一緒に見ながら説明 し、疑問点がないか確認している。	契約時のみならず、面談の際には不明 点がないか伺っていく。保護者から質 問があった場合には、その都度答えて いる。
	㉛	保護者からも子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と 支援を行っているか	5	1	0	年2回の面談、連絡ノートや電話で 保護者からの発信があった場合には 支援している。	定期面談以外にも、送迎時などで気軽 に問合せできる環境を意識しながら、今 後も提供し続けていく。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護 者会等を開催する等により、保護者同 士の連携を支援しているか	6	0	0	事業所内の親子行事1回、保護者 対象の茶話会1回、地域交流を兼ねた 親子行事1回、法人内の親子行事1 回を行った。	今後も内容を見直ししながら、より交 流が深められるよう検討していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子 どもや保護者に周知し、苦情があった 場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	苦情として明確に言われることはな かったが、はっきりと言えないこと を不満に思っている方もいるかもし れないということを念頭に置いてい く。	苦情受付窓口、第三者委員会もあり、 紙面でも保護者に説明している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報を子 どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	毎月のお便り、利用申込書で活動予 定をお知らせしている。	毎月のお便り、ブログ配信にて活動内 容や行事予定の発信、一斉メールで活 動概要の連絡をしている。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	書類の管理や外での会話内容に十分 注意している。	個人情報の概念を打合せ等で行った。 今後も十分注意していく。

	⑩⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	6	0	0	個々に応じた情報伝達方法を行なっている。	子ども達にはコミュニケーションツールを個々に応じて使用することで意思表示を図っている。保護者には、口答だけではなく、重ねてノートに記入したり、電話・メール等も用いながら個々に伝わるよう配慮している。
	⑩⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	0	法人全体で行っている。	法人の行事では、学校や近隣の方がヘチラシを配り招待も行っている。
非常時等の対応	⑩⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	0	当会障害部門全体でのマニュアルを契約時に配布し、確認している。職員には、常時緊急時に備えられるよう壁に貼りだしたり、車内に置いたりしている。	感染症対応などは、お便りやブログ等で活動を発信している。防犯についても、より周知していただくよう発信方法を検討していく。
	⑩⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	毎月、避難訓練を行い非常災害へ備えている。	今後も非常時に備えて毎月避難訓練を行う。
	⑩⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	当会全体での虐待防止研修を行い参加している。また所内会議にて自分たちの支援が虐待に繋がらないよう定期的に呼び掛けている。	今後も年1回の法人での虐待防止研修に参加する。日々の自分たちの支援を精査していく。
	⑩⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束や行動制限を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	契約時に保護者に説明し了解を得ている。	自傷他害があり怪我の恐れがあった場合、理由と拘束時間の記録を取った。その時の状況・その後の対応については保護者や関係機関で共有している。改善策や情報についても共有し、計画に記載している。今後も身体拘束の可能性がある場合には、個別の記録・個別支援計画に記載していく。
	⑩⑫	食物アレルギーのある子どもについて、意志の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	食物アレルギーがあり配慮が必要な場合、契約時に医師の指示書のコピーをもらい、定期受診の結果や指示書に変更があった場合はお知らせいただくようお願いし対応している。	医師の指示書までではない利用児に関しても、アレルゲンとなる物質を保護者から知らされた場合には、提供することが無いよう貼りだし、スタッフ全員に周知している。
	⑩⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	毎月のスタッフ会議で事案を振り返り、ヒヤリハットに記載した。	大きな事故につながりそうな事はないことは、口頭で済ませていた事案もあった為、今後はその都度ヒヤリハットを作成して事故防止の意識を共有していく。

令和2年3月実施